大阪府立母子保健総合医療センター手術棟整備に関する建設事業評価
外部専門家（地方独立行政法人評価委員会）への意見聴取概要について

1．実施日時　平成 23 年８月２日（火）
　　15：00～17：00
※第２１回大阪府地方独立行政法人評価委員会病院部会の議事として意見聴取

2. 実施場所　大阪赤十字会館　302 会議室

3. 出席者（地方独立行政法人評価委員会病院部会）【五十音順】

副部会長	明石　純	医療経営学研究所所長
	中島　和江	国立大学法人大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部病院教授
	南島　和久	神戸学院大学法学部准教授
部会長	松澤　佑次	財団法人住友病院院長 部会長
	山口　育子	NPO 法人ささえあい医療人権センターComl 理事長

4.意見聴取概要

〇大阪府立病院機構より事業概要、評価調書説明及び審議
各委員からの意見は次のとおり

◆ＰＩＣＵでは人工換気療法を行なっているが、ＰＩＣＵの充床率が１００％を超えていることから普通病棟にて行わざるを得ない状況である。また。手術室がフル稼働状態であり、待ちが出ている状況。医療の安全性からも手術棟を増築し問題を解消する必要がある。

◆現地の視察も行い、整備の必要性についてはあると感じている。
問題としては将来リスク、過大投資ではないかというところ。事業費については手術棟のため建設単価が割高となるが、大阪府からの借入金であるため、今後の返済を考慮し、少しでも削減できるよう努めること。

◆手術件数の増に対応すべく、いろいろ工夫されて手術実施体制の充実に努めているところである。平成 22 年大阪府地域医療再生計画「堺市・南河内医療圏」にて堺市医療圏の小児・周産期医療の整備、強化の必要性が言われており、整備の必要性は高いということは間違いないと思われる。母子保健総合医療センターは府域における周産期及び小児医療の要でもあるため、府民の期待に沿えるよう医療の充実を図っていただきたい。